

CAS	75070
物質名	アセトアルデヒド
IARC Vol .(発行年)	71 (1999年)
遺伝子傷害性に関する知見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ invitro 試験系では、細菌を用いる試験系で遺伝子突然変異を誘発し、哺乳動物の培養細胞で(代謝活性化系非存在下) 遺伝子突然変異、姉妹染色分体交換、小核及び染色体数の異数性を誘発した。</li> <li>・ in vivo 試験系では、ショウジョウバエを用いる試験で遺伝子突然変異を誘発したが、マウスの小核試験では陰性の結果であった。</li> <li>・ ヒトのアルコール中毒者の白血球において、本物質の DNA 付加物を認めた。</li> </ul>
実験動物に関する知見	<p>評価：十分な証拠</p> <p>概要：ラット及びハムスターに吸入暴露させた結果、ラットで鼻腔粘膜に腺がん及び扁平上皮細胞がんを、ハムスターで咽頭がんを認めた。</p>
ヒトに関する知見	<p>評価：不十分な証拠</p> <p>概要：飲酒と関連して、口腔、咽頭、喉頭及び食道でがんの発生率上昇の示されたケースコントロール研究結果があるが、研究が小規模で調査設計が不十分であった。</p>
評価結果	上記のとおり、本物質は細菌を用いる試験をはじめとする複数の試験系で遺伝子傷害性が認められているため、より詳細な情報収集を行う必要があると考えられた。